



発行所 岡山県立笠岡高等学校 同窓会 岡山県笠岡市笠岡3073の2 事務局 0865 (62) 5128 印刷 株式会社印刷所

百二十年の「繋がり」

同窓会会長 浅野和志



千鳥会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

コロナに明け暮れ三年目となりました。もうそろそろ先が見えてきて欲しいものです。「これからは人間だけの健康ではなく、プラネタリーヘルス、つまり地球の健康を考えていかないといけない」と岡山大学医学部創立百五十周年の式典で横野学長が話されていました。

この時代も人間は「繋がる」とをとても大切に生きてきました。コロナ禍で生活のスタイルも大きく変わり、より一層「繋がる」ことの重要性に気がかされたような気がします。

今年、母校千鳥は創立百二十年周年です。明治三十七年の卒業生十一名から始まり、大正十三年の卒業生が百名を超え、昭和二十年の終戦の混乱を経て、昭和二十八年家庭科初百十五名が卒業、昭和四三年には一学年最高の三八二名の卒業生を送り出し、平成六年家政科最後の四五名が卒業、そして令和三年度の一六七名の卒業生まで、総勢二万五千九百十四名の先輩、後輩が千鳥を巣立っていきました。



校長 山崎淑加

創立百二十年を迎えて

千鳥会の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。笠岡高校は令和三年に創立百二十年を迎え、今年度は様々な記念行事を予定しています。同窓生の皆様とともに生徒が千鳥百二十年の伝統と誇りを実感できる一年にしたいと考えております。

千鳥会では現在、一年次生と二年次生がそれぞれ四クラス、三年次生が五クラスの計十三クラスで、全校生徒が四七〇名の学校規模となっています。生徒たちは「文武一道」の精神のもと、勉強に部活動に真摯に取り組む、陸上競技部が中国大会に出場し、書道部が全国高等学校総合文化祭への出場を決める等、素晴らしい成果をあげています。

東京支部総代会報告

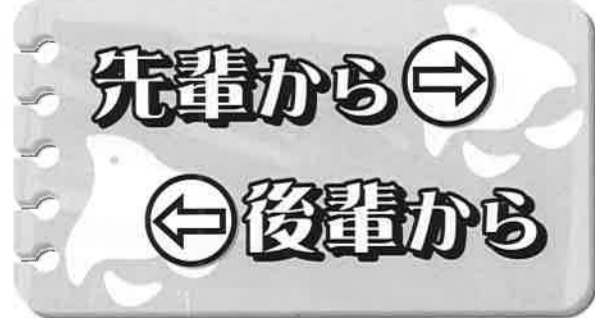
東京支部副支部長 浅野 勝也

コロナ禍で過去二年開催を見送っていた東京支部総会を五月二十八日にアリス東京日本橋店で開催いたしました。来賓として浅野同窓会会長、近畿支部栗山様、母校の山崎校長先生と大島先生をお迎えし総勢五五名の方々にご参集くださいました。

近畿支部より

近畿支部長 陶山 英志

十三世紀末に建国されたオスマン帝国は多民族国家を治した。支配地域に対して適切な自治権を与え、一神教のイスラム国家でありながらキリスト教、ユダヤ教等民族の信仰の自由を認め世界からヒトとモノを集め繁栄した。十七世紀初めをピークに内部制度の崩壊と支配地域に過度の重税による離反と後の大航海時代の誘因にもなった地中海交易に過度の税を課した為衰退した。



壊れたオルゴール 昭和四十四年卒 天野 喜一郎

戻りたくなる笠岡に 昭和五十四年卒 小林 嘉文

壊れたオルゴールを見つけた。高校一年生の十二月のクリスマスプレゼントとして買った。手渡す勇気が無くへたれのまま卒業した。行く場をなくしたまま今も手元にある。高校生活は、球技大会、

返してみると、その間は笠岡のことを考えることはあまりなかったように思います。

商社を退社して笠岡に帰り、幼なじみとの付き合いも再開し、千鳥会に参加することも増えました。もちろん先輩後輩はありますが、お互いの地位や立場もあまり気にせず、社会に巣立つ前の高校当時の関係のまま話のできる、そんな千鳥会の皆様とのこれからも変わらない関係を大切にしていきたいと思っています。

笠岡高校の卒業生は全国各地で活躍されており、それは大変素晴らしいことです。しかし笠岡市長となつた今では、卒業生に素晴らしい市内の企業に就職してもらいたいとも思っています。笠岡高校の地域学の授業では、毎年一コマの時間をいただき、一年生に講義をしています。どんなことを話したら笠岡に愛着を持つてもらえるか(また寝ないで聞いてもらえるか)、毎回苦心しています。今後

も更に企業誘致を進め、地場産業を育成して働く場所をたくさん創り、笠岡を卒業生の皆さんに戻ってきてもらえるまちにします。歴史と伝統ある笠岡高校と千鳥会が、今後も未永く続いていくことを祈っています。

変わらない

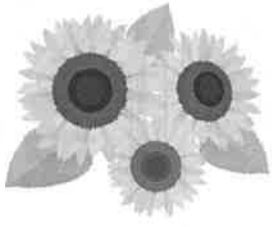
平成四四年 生口 俊浩

卒業して三十年がたつ、早いものである。最後に千鳥を訪問したのはいつだろう、卒業後一度も訪れてい

ないなんてことはなく、四十歳前に職場が変わる時に急いでいたので卒業証明書を直接受け取りに伺った。私より疎遠な卒業生なんて山ほどいるだろう、不審者対策・コロナ禍でもあり今では簡単に敷地内には入れないだろうから、「機会があれば一度は千鳥を訪問しましょう」なんて軽々しくは言えない。理由はなんであれ貴重な訪問であつたわけだが、私の中では千鳥は変わつていなかった。

高校時代は勉強に部活に充実していた。人生においてははるか三年間だが間違いない今の自分の基礎を作つていく。疎遠になつた同級生は少なくないが、職場関係には同窓生は意外と多く頼りにさせていた。いろいろ。千鳥出身と言うことがわかれば世代を超えて親近感がわき距離は一気に近くなる、同窓生は実にありがたい。

先日、千鳥生を面接した際に制服が変わつていたのに気がついた。三十年前の自分と同じ服がない、いろいろなもの時代時代が変わる必要があり実際変わつていく。だが自身が笠岡高校卒業であることは変わらない、これからはふとしたことで新たな同窓生に出会うことだろう。



千鳥の思い出

平成十四四年 水田 圭宣

平成十四年卒業の水田圭宣と申します。

思い返せば、今から二十年前の平成十四年、私は笠岡高校を卒業しました。当時の思い出と言え、よく学校に通つたなあというのが率直な思い出です。夏休みも冬休みもあまりなく授業と部活動を頑張つた記憶があります。

この度、笠岡高校同窓会千鳥総会に初めて参加させていただきました。ちょうど私が卒業する頃に、総会の会場であつた千鳥会館が完成したことを思い出しました。私が入学した当初は、木造の千鳥会館であり、そこでお昼ご飯のカレーパンを買つて食べていた記憶があります。そのカレーパンの味は本当においしかったですと卒業した後も思い出することがあります。

その後は、東京の大学に進学し、岡山県育英会東京寮という岡山県出身者の学生寮に入寮しました。そこでは笠岡高校の後輩もおり、東京へ出ても故郷の話で盛り上がりた記憶があります。大学卒業後は司法書士試験に合格し、笠岡市十一番町にて司法書士事務所をやつております。不動産や相続の登記についてお困りのことがあれば是非私にご相談ください。

変わらないもの

平成二十四四年 黒住 彩乃

笠岡高校を卒業して、十年になります。二年前の春、千鳥坂を久しぶりに登り、今は教員として、笠岡高校に勤務しています。

私が生徒の頃とは変わってしまったこともあり、昔も今も変わらないこともあります。それは、生徒の何事にも前向きに取り組む姿勢です。私が高校に入学したとき、中学校との勉強のレベルの違い、予習や課題の量、部活動との両立の困難さに、困惑したことを覚えています。しかし、私が笠岡高校で頑張ることができたのは、目標に向かつて努力する友人の姿に多くの刺激を受けたからです。前向きに取り組む友人の姿を見ると、私も一緒に頑張りたい、負けてられないと思うようになりまし

た。また、学業だけではなく、部活動や学校行事にも全力で取り組み、それらは一生の思い出となりました。笠岡高校で人間として大きく成長できたのは、周りの友人からの刺激と、支えてくれる先生方の存在があつたからこそだと思ひます。

私は今、三年生の担任をしています。大学受験に向けて、生徒たちは必死に学習に取り組んでいます。苦しい時期だからこそ、支え、あい、切磋琢磨しながら、困難を乗り越えてほしいと思います。そんな生徒を教員として支え、人間として成長することができるように、自分自身も努力していきたいです。

今の私をつくつた 笠岡高校

令和四四年 中島 佳菜

私が中学生の時、笠岡高校は勉強しかしない学校で、青春というより修行というイメージを持っていました。

私は、勉強が嫌いです。また、怠け者で自分に甘いです。だから、自分を厳しい環境において、成長しようと思つて笠岡高校を目指しました。入学してから、なかなか思うようにいきませんでした。が、笠岡高校を選んだことも、笠岡高校で過ごした時間も後悔していません。勉強や部活に一生懸命取り組みますが、「勉強しかない」ことはなく、文化祭や体育大会などの行事にも一生懸命で、大切な思い出になりました。

また、私は、高校の部活でソフトボールを始めました。当時から「ソフトボール部っぽい」とよく言われます。私は部活が大好きだったので、とても嬉しいです。中学の時にも運動部でしたが、運動部らしいとは言われませんでした。私のどのような部分かそう思わせているのかはわかりませんが、ソフトボール部は私の私生活の態度や性格が変わるほどの大きな影響があつたのだと思います。たくさんの人に支えてもらつても成長できた三年間だったと思います。先生方や友達のおかげで、今とても楽しく大学生活を送っています。

部活動報告 R3年度

陸上競技部

岡山県高校総体

女子7種競技/4位・7位

中国高校陸上選手権

女子7種競技/8位

岡山県高校陸上選手権

男子800m/6位

男子やり投/4位

岡山県高校新人陸上大会

男子やり投/4位

バドミントン部

岡山県高校秋季大会

女子学校対抗/ベスト8

吹奏楽部

第53回岡山県

アンサンブルコンテスト

フルート三重奏/銀賞

サククス三重奏/銀賞

書道部

岡山県児童生徒書道展

岡山市長賞

高校生国際美術展

(書の部)/奨励賞

美術部

高校生美術コンクール

/銀賞

サイエンス部

マリンチャレンジプログラム

ラム2021/地方大会出場

令和3年度つなげ！生物

多様性高校生チャレンジ

シンプ/出場

サイエンスキャッスル

2021 中四国大会

/山陽新聞社賞・優秀賞



令和4年度入試結果

国立大学

大阪2名、九州2名、神戸

1名、岡山13名、鳥取1名、

島根3名、広島5名、山口

4名、徳島3名、香川2名、

愛媛7名、長崎1名、大阪

公立2名、岡山県立7名、

福山市立3名、下関市立5

名など

合格者合計93名

私立大学

早稲田1名、同志社2名

立命館3名、関西4名、関

西学院3名、京都産業1

名、龍谷2名、近畿2名、

ノートルダム清心16名

合格者合計195名

※合格者数には既卒生を含む



* 事務局よりお知らせ *

令和4年度 笠岡高校同窓会千鳥会総会

令和4年7月24日(日) 11:00 ~ 13:00 笠岡グランドホテル

千鳥教育ボランティア募集

笠岡高校では、学校での様々な活動に「千鳥教育ボランティア」としてご協力・ご活動いただける方を募集しています。詳細はインターネット「笠岡高校 千鳥教育ボランティア」で検索してください。